

1 所長による分析(業務運営の総括)

(1)特に重点的に取組んだ事項

人材不足が深刻化し、求人が増加する中で、職務経歴を有し即戦力となる雇用保険受給者の早期再就職を図ることが重要と考え、雇用保険受給者に対して初回失業認定日までに求人情報を提供のうえ失業認定日を利用して全員と職業相談を実施したり、ミニ面接会や模擬面接を実施するなどして雇用保険受給者の就職支援を行いました。

(2)サービス改善・業務改善を図った事項

一億総活躍社会といわれ、社会参加を希望する希望する障害を持つ求職者が増加している中で、一人一人の障害特性を考慮した効果的な就職支援を行うため、福祉事務所、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター等の関係機関の職員と連携した就職促進の取組みを重点的に行い、障害者の就職件数は過去最高となりました。

(3)今後のサービス・業務改善について

主要指標のうち達成できなかった就職件数については、求職者との一層の信頼関係の構築を基本とした就職支援を行うため、一人の求職者に対し一人の職員を専任する担当制によるマッチングを充実させるとともに、求人者に対しては求人条件の緩和について働きかけ、求職者がより応募しやすい求人の確保を図りながら職業紹介を行い、目標達成に向け取り組んでいきます。

また、求職者に求人企業の理解を深めてもらうため、企業の建物全景や職場風景等の画像情報についても積極的に収集に努め、求職者に提供していくこととしています。

2 総合評価 (※)

(武生所)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果

(1) 主要指標

	就職者数	求人充足数(受理地)	雇用保険受給者早期再就職者数
実績	3,703	3,362	1,003
目標	4,128	3,730	1,010
目標達成率	90%	90%	99%
(参考)過去3年度平均	4,214	3,843	1,054

(2) 補助指標 及び 重点指標

	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	ハローワークの職業紹介に より正規雇用に結びついた フリーター等の件数	マザーズハローワーク事業 における担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の就職率	障害者の チーム支援に よる就職件数	新規高卒者の 就職内定率
実績	98.3%	95.7%	31.5%	792	87.6%	76	100%
目標	90.0%	90.0%	27.4%	722	87.5%	53	99.2%
目標達成率	—	—	115%	110%	100%	143%	101%